

事業番号	8
------	---

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	生きた英語教育推進事業				担当課	学校教育課	
事業期間	開始年度	平成12年度	～	終了予定年度	担当係	学校教育係	
総合計画	めざすまちの姿	1人が育つまち					
	目標	② 生きる力を育む（学校教育）					
	成果指標	学校の授業がわかると答える児童・生徒の割合			中間目標 (H27)	小90%中80%	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	10 款 教育費	1 項 教育総務費	3 目 教育指導費			
	細事業	231 教育指導関係費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的 (何のため)	異言語・異文化コミュニケーションの楽しさを味わわせるとともに、積極的に英語を学ぼうとする姿勢を育てる。						
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園、小学校、中学校へ継続してALTを派遣するため、ALT個人の指導力はもちろん、モラルや日本文化への理解、児童生徒の発達段階に応じた指導技術等から委託業者を決定する。</li> <li>・公立幼稚園、小学校、中学校へ学園に応じた教育活動ができるように配置計画の立案し、効率的に実施する。</li> <li>・ALTの有効活用を薦めるための教職員の研修会を実施。学校の教育活動で具体的なALTの活用方法やALTへの指示書の作成の方法を研修する。</li> <li>・ALTの業務内容や勤務態度等の把握を行い、児童生徒に対して適切な指導・支援ができるように委託業者に要請する。</li> </ul>						
これまでの改善・見直しの状況	小中学校における「話す」「聞く」を中心とした英語活動の中で、コミュニケーション能力の素地を育む指導が求められている。これに応えるために、英語を母国語とする指導者の配置が必要となっており、当市でも各校に派遣し成果をあげてきている。平成12年度からは幼稚園にも派遣し、保護者からも高い評価を受けた。13年度からは2名のALT（外国人指導助手）を3中学校へ派遣したが、15年度からは3名のALTを雇用し、3中学校に常駐すると共に、小学校並びに幼稚園へも定期的な訪問指導も実施している。19年度は、市内3中学校において、各クラス、週1回の頻度で指導を行った。ALT3名のうち、1名を小学校に、別の1名を幼稚園に配置し、英語の授業を展開した。平成22年度はALT4名（3名は委託契約、1名は非常勤講師として雇用）を配置。平成23年度からはALT4名（全員委託契約）として配置している。						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	21,188	20,664	20,664	(内訳)
	決算	21,188	20,664		物件費(委託料) 20,644
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
職員人件費	1,101	2,342	2,387	人工	0.3人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	学校教育課事業調査の中での事業についての満足度	目標		80%	80%	80%
実績			94%	100%		
目標						#DIV/0!
実績						
目標						#DIV/0!
実績						

実績・改善	平成23度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者の決定。子どもと直接関わり、成長に大きな影響を与える可能性のあるALTなので、過去の業務実績が優秀である業者と随意契約をしている。</li> <li>・配置計画の立案。学校規模や外国語の時間数などを考慮してALTを配置している。</li> <li>・研修会の実施。ALTの活用の仕方について、業者から説明を受ける。</li> <li>・業務内容、態度等の把握。ALTの業務内容や状況、勤務態度等を先生方が評価できるように、業者がWebアンケートを実施している。その結果は教育委員会にも公表される。</li> </ul>				
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回しか評価できない。</li> <li>・各校の希望する日数、時間数を配置したいと考えているが、要望に応えられない場合もある。</li> </ul>				
	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少なくとも学期1回、年間3回程度の評価ができるように業者に改善をお願いする。</li> <li>・次年度の配置計画について早い段階から教育課程の担当者に打診し、要望を吸い上げておく。</li> </ul>				
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT（外国人指導助手）4名のうち、3名は委託契約、1名は非常勤講師として雇用していた。平成23年からはALT4名を全員委託契約として配置している（21,188千円から20,664千円に減額）</li> </ul>	効果額 H24-H23 (千円)	0		

自己評価	事業目的の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTによる異言語・異文化コミュニケーションの授業の実施がなされ、生きた英語に触れることができている。</li> </ul>				
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語のコミュニケーション能力の低下、異文化への苦手意識が強まる。</li> </ul>				
	判定	<b>A 継続</b>	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を母国語とするALTより、コミュニケーションを学ぶことにより、生きた英語を身につけることができ、継続した学習が必要。</li> <li>・小学校5・6年生で「小学校外国語活動」が必修化し、継続の必要性が高まった。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の指導に関わるため、学習指導だけでなく、日本の生活文化および習慣に関して適切な対応をとることのできるALTを確保をしていく。</li> </ul>					